

のむら復興まちづくりデザインワークショップ（アクション編①）を開催しました！

■基本設計に向けたワークショップ（アクション編）の開催

これまでの「のむら復興まちづくりデザインワークショップ（全6回）」でまとめられた「のむら復興まちづくり計画（骨子案）」に基づき、「河川沿いの魅力的な空間づくり」を具体的に推進していくための検討を行う場として、「のむら復興まちづくりデザインワークショップ（アクション編①）」を開催しました。

愛媛大学社会共創学部 松村暢彦教授の進行のもと、愛媛大学の学生の皆様の協力を得て、参加者の皆様と設計者が一緒に手を動かしながら、エリアごとの空間・利活用のゾーニングを考えました。

【のむら復興まちづくりデザインワークショップ（アクション編①）の開催概要】

日 時：2019年12月18日(水曜) 19:00～

会 場：西予市野城総合福祉協会「野城ふれあい館」

主 催：西予市

協 力：愛媛大学、東京大学復興デザイン研究体

参 加 者：18名（野村地区自治会、社会教育団体などの公的団体代表者、西予市内在住者など）

進行補助：愛媛大学の学生

主な内容：

○今回のワークショップについての主旨説明

○河川沿い空間の基本設計に向けた提案

○グループワーク ①左岸の空間・利活用ゾーニングについて

②右岸の空間・利活用ゾーニングについて

○グループワークの発表

ワークショップでの意見は裏面をご確認ください。



主旨説明



グループワーク



各グループの意見の確認

■ワークショップの開催結果

今回のワークショップでは、河川沿い空間整備の具体化に向けて、各エリアの広場や施設の大きさや配置など、より具体的なイメージを図面の上で確認し、活発な意見交換を行うことができました。

「お酒を飲みながら下の広場のイベント（かつての乙亥大相撲など）を見物して楽しむ文化」、「シルクの町のシンボルとして桑の木を植えては」など、野村ならではの文化を大切にしたいアイデアをたくさん出していただき、楽しい雰囲気のワーキングとなりました。また、サクラなどの樹木を植えることに対する維持管理や安全面での配慮、周辺にお住まいの方々への配慮など、整備後を見据えたご意見もいただきました。今後の基本設計に向けた論点が整理され、次に繋がるよいワーキングができました。

■空間・利活用ゾーニングに対する主な意見

ワークショップでグループごとにいただいた意見の一例をご紹介します。親水空間や樹木についてなど、意見が分かれた内容については、今後のワークショップで検討していきます

※今後要検討 親水空間について



- 氏宮川で検討している親水空間については、川の規模が小さいことなどから無理して整備しない方がよい。
- 半円形の親水空間に、中心に噴水をつくる。
- もっと川に近づける親水空間にしてほしい。

- 愛宕山への眺望のよい場所に、最大浸水時の水のの高さを示すモニュメントが良いと思う。
- 桜並木を川沿いに植えて、花見もできるようにしたい。
- 広場はグランドゴルフができる広さを確保してほしい。
- トランポリン型の遊具を設置してほしい。
- トイレや水道の設備がほしい。
- 住宅に隣接するエリアは大きな音の出ない施設にした方がよい。

- まちの賑わいを復興させるため商店街の中心や、乙亥会館側から人を呼び込む工夫が必要。
- 昭和30年～40年代はフジマートの一階で乙亥大相撲を行っており、向かいの店の2階からお酒を飲みながら見物していた。
- 「お酒を飲みながら下の広場のイベントを見物して楽しむ文化」を伝える場所にしたい。
- 軽トラ市や盆踊り、マラソン大会など、地域のイベントを行える場所にしたい。
- スロープや手すりが必要。
- 高低差を生かして、ステージと観客席を設けるなど、デッキと広場を一体的に使いたい。

- 広場はできるだけ広く、多目的に使えるグラウンドにしておく。
- クローカー、レクバレー、3on3など、どんなスポーツもできるようにしたい。
- 広さを活かして1周できる周遊園路が欲しい。
- 小さな子どもがボール遊びできるようにしたい。
- 川の安全を一番に考えてほしい。

- 菜園で採れた野菜をバーベキューに利用できるように。
- 野村高校の畜産科の生徒が使える農園はどうか。
- 木立の中で楽しめるバーベキュー場が欲しい。
- 周辺住宅にバーベキューのにおいがいかない工夫が必要ではないか。
- 川沿いはウォーキングやジョギングで使えるようにしてほしい。

※今後要検討 みどりについて

- 落ち葉が少なく管理のしやすい樹木を選定してほしい。
- 安全面から、川沿いから離れた場所に桜を植えてほしい。
- シルクの町のシンボルとして桑の木を植えるのはどうか。

【お問い合わせ先】 西予市 復興支援課 電話：0894 (62) 1455